



こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために

国際ロータリー会長  
カルヤン・バネルジー

Rotary International

# 週報

— さあ、今こそ我等の出番だ —

2011~2012年度 会長 濱仲 幸弘

Vol46 No.32 平成 24 年 2 月 28 日



国際ロータリー第 2750 地区多摩中グループ  
東京国分寺ロータリークラブ

## 第2220回 例会報告 — 2月28日 —

本日の司会

酒井 SAA 委員

ロータリーソング

『我等の生業』

お客様紹介

濱仲 会長

○鈴木剛様(東京渋谷RCロータリー財団奨学・GSE・学友委員会委員長)○神宮司真奈様(2010-11年度RC国際親善奨学生)○本多幸雄様(東京武蔵国分寺RC幹事)○井口敏之様(東京武蔵国分寺RC)○縄康雄様(東京武蔵国分寺RC)○田畑哲郎様(東京武蔵国分寺RC)○荒畑忠弘様(東京小平RC)

会長の時間

濱仲 会長

先週は地区大会がありまして、国分寺RCからは25名の参加ということで、皆様ご苦労様でした。大会会場はザ・プリンスパークタワー東京という東京タワーのそばのホテルでした。一昨年までは品川だったのですが、去年から芝公園に移りましたね。これからは芝公園で行なうことになるのでしょうか。皆さんが参加されたのは2月23日でしたが、私と高橋幹事は前日のクラブ会長幹事会並びにRI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会から出席しました。挨拶ばかりがやたら長い会合でしたが、美味しい料理をいただきましたので、会長の役得として理解することにします。役得ということに関しては、地区大会時の「クラブ紹介」で会長として壇上に上がったことも良い思い出となっています。皆さん、ありがとうございます。また、本日の卓話の講師は、その地区大会で堂々と発表されていた国際親善奨学生の神宮司真奈さんをお願いしております。地区大会では話せなかった内容も含め、留学の成果を発表していただきたいと思います。さて、本日は4月16日に創立20周年記念式典を控えた武蔵国分寺クラブから本多幸雄幹事をはじめとする4名の方がPRIにいらっしゃっております。私たちは親クラブとして全員登録という形で創立20周年をお祝いしたいと思いますので、皆様よろしくお祈りします。それではPRをよろしくお祈りします。



○武蔵国分寺RC創立20周年実行委員長:田畑哲様

東京武蔵国分寺RC創立20周年記念式典を、4月16日に開催します。今日はその式典のPRIに参りました。私は、その実行委員長を務めており



ます田畑と申します。宜しくお願い致します。濱仲会長には、その式典で、片倉ガバナーに続きまして、祝辞を頂けたらと思います。さらに加えて、3月末くらいまでに、記念誌に掲載いたしますご挨拶文を1000字ほどで頂きたい、宜しくお願い致します。式典は、4月16日(月)、パレスホテル立川・ローズルームで行いますので、多数の皆様の参加をお待ちしております。何卒宜しくお願い致します。

幹事報告

高橋 幹事

①国分寺市に贈呈する放射能測定器2台が、届きましたので、お見せします。1台約10万円です。現在、東京都から国分寺市に支給されたものと同型でございます。その贈呈式を今週



の金曜日に、会長、幹事、北田長期計画策定委員長と一緒に、市長の方にお渡しする予定ですので、報告致します。②4月17日に、ポリオ撲滅チャリティゴルフが狭山ゴルフで開催されます。これは小金井RCが主催しており、なるべく人数を集めて下さいという話ですので、出来るだけ出席頂ければ幸いです。③私共がバックアップしている国分寺ジュニア・ミュージックシアターの方たちが、3月31日(金)開催の第7回定期公演会「くつやのこびと」というミュージカルをやるそうです。無料招待券が事務局に届いておりますので、ご興味のある方は事務局に声をかけてください。

委員会報告

出席委員会

高 橋 会 員

会員数: 39名 免除: 8名 メーキャップ済み: 2名  
欠席: 4名 出席率: 87.1%

≪ 前々回の訂正 ≫ メーキャップ 1名

欠席 5名 出席率 81.8% → 84.8%



ニコニコボックス

山内親睦副委員長

鈴木剛様(東京渋谷RC):本日はロータリー財団国際親善奨学生の神宮司真奈さんがお世話になります。荒畑忠弘様(東京小平RC):本日



はお世話になります。どうぞよろしくお願い致します。武蔵国分寺RC一同様：本日は貴クラブの例会を本当に楽しみにしておりました。よろしくお願い致します。また4月16日に当クラブの20周年記念式典を予定しておりますので、ぜひご参加頂ければと思います。濱仲会長・高橋幹事：先週は地区大会出席ご苦勞様でした。神宮司真奈様本日卓話よろしくお願い致します。田中会員：武蔵国分寺皆様ようこそいらっしゃいました。20周年は必ず参加致します。倉島会員：鈴木剛地区学友委員長、国際親善奨学生神宮司真奈さん、大勢の武蔵国分寺RCのお客様を歓迎してニコニコします。

## 卓 話

### ○地区学友委員会委員長 鈴木剛様の紹介：

#### 倉島プログラム委員長

### ○国際親善奨学生 神宮司真奈様の紹介：

#### 鈴木剛委員長様

国際親善奨学生制度は1948年から始まって来ております。再来年度、2013/2014年度からなくなります。その年度から新しい形になります。これまでに、国分寺RCから、どのような方が国際親善奨学生になったかということ調べましたら、5名の女性の方が、国際親善奨学生として出ております。その中には、今、聖心女子大学の教授、東京大学の教授をされている方など、世の中のためになる人材を輩出しております。前置きが長くなりましたけれど、神宮司さんをご紹介致します。神宮司真奈さんは、2010/2011年度の国際ロータリー財団の国際親善奨学生でございます。派遣先は、スイスのジュネーブで、そちらで、ジュネーブ・アカデミーというところに留学致しまして、国際人道法あるいは国際人権法、そういうようないわゆる人権法に関係する研究をなさっております。昨年の8月末に留学を終えて帰国しました。現在、そのスイスでの修士論文を提出し、その結果待ちということです。本日、合格の知らせが届くことになっております。どうもおめでとうございます。そういうところで、この一年間を振り返ってということで、卓話をして頂きますので、宜しく御願致します。

○卓話：「あの一年間で学んだこと」神宮司真奈様  
只今、ご紹介にあずかりました2010-2011年度国際親善奨学生の神宮司と申します。私は、狛江ロータリークラブから派遣されて、スイスのジュネーブアカデミー国際人道学修士課程にて、一年間留学してまいりました。あのかけがえのない一年間を可能とてくださったロータリークラブの皆様には心から感謝しております。その感謝の気持ちを表すうえで、今回は私があの一年間で何を学んだのかを紹介させていただきます。大きく分けて、1)国際交流とは何か、2)気持ちを共有すること、3)国際人道法を学んだ先についてお話しします。第一に、国際交流とは何か。スイスのジ

ュネーブは、国連本部があることから、世界の中でも特に国籍の多様性に富んだ都市であると思います。たとえば、私の所属していた修士課程では、全生徒数約90名の中に、33か国の国籍の人がいました。そんな毎日の国際交流の中で学んだことは、人には無意識に刷り込まれたその国の文化がある、だからこそ自分にもその無意識の文化があると思って相手にも接することが大切、そして国際交流とはその「違い」を知り、受け止めあうことだ、というものでした。第二に、気持ちを共有すること。あの3.11、東日本大震災の時、私はジュネーブにいました。そのため、地震による被害を直接受けなかったものの、日本にいる大切な人々を急に失ってしまいそうな気がして、毎日不安でしょうがなかったです。そんな時ジュネーブで、ある変化が起きました。大学院の先生や友人のみならず、道ですれ違う人、お店の店員の人など、今まで知らなかった人にさえ、「あなたは日本人ですか。家族は大丈夫ですか。」と聞かれるようになりました。また、私と友人で企画したチャリティイベントでの会場の温かい空気を今でも忘れることができません。国際交流を通して、色々な国の人々の「違い」を学びつつも、「人」として「気持ちを共有する」ことができることを学んだ日々でした。最後に、国際人道法を学んだ先に。国際人道法とは、簡単に言うと、各国が約束した戦争当事者が守らなければならない戦争のルールです。武力紛争がいかに始まったかとは関係なく、武力紛争が事実上存在するならば、紛争当事者に適用され、その戦闘行為の暴力を制限します。私は、留学する前、国際人道法を学ぶ理由として、次のようなことを考えていました。武力紛争をなくすことはすぐにはできないかもしれない、でも紛争下の中で少しでも犠牲者を減らすことができれば、次につながるのではないか、その一つの方法が国際人道法の履行の促進なのではないか。しかし、いざ留学中に国際人道法を学んでみると、見えてくるのは武力紛争の悲惨さ、非人道性、そして国際人道法の困難性でした。武力紛争が起こると、やはり命を守ることは非常に困難になる。やはり、武力紛争はない方がいい。武力紛争を防ぐことに少しでもつながることを私は仕事にしたい、いつかそう思うようになっていました。そのために、私は今、国際人道法と国際人権法を学んでいます。命の大切さを知り、命が大切にされる社会の実現のためにはどのようにしたらよいか、生涯のテーマだと思っています。以上が、私が国際親善奨学生としての一年間で学んだことです。これからこれらの学びを私なりに実践していき、いつか皆様の前で、また別のご報告ができる日が来るように日々精進してまいります。ご清聴ありがとうございました。

国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ

## 東京国分寺ロータリークラブ

会 長 濱 仲 幸 弘 幹 事 高 橋 正 典  
会 報 委 員 長 小 向 將 介 副 委 員 長 山 内 千 枝

事務所・例会場 東京都国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル8階  
Tel.042-322-6480

編 集 ・ 印 刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町3-8-12 Tel.042-320-5601

URL: <http://www.tokyokokubunjirc.org/>